

# 岡山県はEVシフトを応援します



2050年のカーボンニュートラル(二酸化炭素排出量の実質ゼロ)実現に向けて、世界的にガソリン車から電気自動車(以下EV)、プラグインハイブリッド車(以下PHEV)にシフトする動きが進んでいます。岡山県では全国に先駆けてEVシフトに対応した産業と地域の実現を目指し、県内の自動車関連企業のEVシフトの対応を支援するとともに、充電環境の整備を支援し、EV・PHEVの普及を強力に推進しています。

## EVの4つの魅力

### 静かでパワフル

#### ✔ 優れた走行性能

エンジンではなくモーターで走るEVは、騒音や振動が小さく、発進時から最大トルク(クルマのタイヤを回すための瞬間的な力)を発生。高速道路での合流も、滑らかな加速でストレスなくスムーズにできます。

三菱自動車が2022年秋頃に一般販売再開を予定している国内唯一の軽商用EV『ミニキャブ・ミーブ』



### 走行中のCO<sub>2</sub>排出ゼロ

#### ✔ 環境にやさしい

ガソリンを使用しないため走行時のCO<sub>2</sub>の排出量がゼロ。地球温暖化対策への貢献も期待されています。

### ガソリン代より電気代の方が安い

#### ✔ 減税や補助金対象 ランニングコストが安い

車は燃費がよいほど維持費を抑えることができます。EVの燃費(電費)は、ガソリン車よりもよく、昨今の電気代の値上げをふまえても、年間のランニングコストはガソリン車よりも安くなります。

### 停電時にEVを活用

#### ✔ 災害時に役立つ

バッテリーに大容量の蓄電機能を持つEVは、移動可能な電源。停電や災害時など、もしもの時の非常用電源として役立ちます。



### ガソリン車の燃費に換算すると

軽EVは  
約40km/L<sup>※</sup>に相当!

※ガソリン小売価格:165円/L、電力量料金:33円/kWh、電気自動車の交流電力消費率(電費)を124Wh/kmとして試算  
※季節や走り方によって燃費(電費)は変化します

三菱自動車が2022年6月16日に発売した軽EV『ekクロスEV』

## EVの性能が飛躍的に進化! 航続距離・加速性能もアップ

### 航続距離

### 大幅に伸び、 充電インフラも普及

先端技術の開発・研究により、バッテリー性能の向上、蓄えた電気の効率的利用、また搭載バッテリーの容量も拡大し、航続距離が大幅に伸びています。2022年に発売された新型軽EVでは約180km、大型バッテリーを搭載した一般的なEVでは約400km走行できる車もあります(※)。県内の充電スポットは、急速充電設備がある大型ショッピング施設をはじめ280カ所以上。県では、今後も充電環境の整備に力を入れて取り組みます。

※定められた試験条件での値。  
季節や使用環境、運転方法に応じて航続可能距離は異なります。

### 充電

### オフィスで充電可能! 補助金の活用を

オフィスや自宅に充電設備を設置することで、空いた時間にいつでも充電できます。場所をとらず手軽に設置できるコンパクトな充電設備もあり、普通充電設備なら約10万円(工事費込み)~。2022年度は国と県の補助制度を活用することで、普通充電設備・急速充電設備ともに、最大で設備本体の約3/4(ガソリンスタンドや道の駅に設置する急速充電設備であれば全額(機種ごとの上限あり))、工事費の全額(上限あり)の補助が受けられます。



# 車両購入や充電設備の設置には補助が受けられます

国は、EV等の車両の購入費用や充電インフラの設置費用について、経費の一部の補助を行っています。また、岡山県でも法人等を対象に充電設備設置の補助を行っています。

## 経済産業省のCEV補助金 EV新車購入<sup>※</sup>への補助金額は倍増！

「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金(CEV補助金)」では、従来40万円だった上限が最大85万円へ倍増。

※初度登録日が2023年2月17日まで、かつ初度登録日から1カ月以内の車両が対象

### EV車両を購入する場合の費用(一例)

(計算式の例)三菱「eKクロスEV・Gグレード」の場合

実質200万円以下!	購入負担額	車両価格	国の補助金	これに加えて市町村の補助金を併せて利用できる場合があります
	1,848,000円	2,398,000円	550,000円	

### 税制優遇制度もあります

国土交通省が定めた環境性能基準(排ガスや燃費など)をクリアした車を購入すると、「エコカー減税」「グリーン化特例」「環境性能割」の3つの税制上の優遇を受けることができます。

※現在の「エコカー減税」は2023年4月30日まで、「グリーン化特例」は2023年3月31日までに新規購入(登録・届出)された車が対象

<b>エコカー減税</b> 新車登録時と初回車検時(継続検査)の自動車重量税が免税(100%軽減)	<b>グリーン化特例</b> 新車新規登録で、翌年度分の自動車税(種別割)が75%軽減	<b>環境性能割</b> 自動車の取得時、燃費性能に応じて課税される税金。EVなら非課税
--	--	---

### 岡山県の補助金(充電設備)

充電設備の設置を対象とした補助金申請を受付中。

詳しくはこちら。

【お問合せ窓口】

岡山県環境文化部 新エネルギー・温暖化対策室

☎086-226-7298



### 国の補助金(車両・外部給電器・V2H・充電設備)

次世代自動車振興センターが実施しているEV等導入に関する補助金、充電インフラ補助金情報はこちら。

【お問合せ窓口】

一般社団法人 次世代自動車振興センター ☎03-3548-3231



EV導入インタビュー

## 未来と企業とEVと

導入のきっかけ 環境への配慮、補助金がEV買い替えの後押しに。

現場の声、感想 静音で力強い走りが魅力。航続距離も問題ありません。

弊社では、独自技術を用いた屋内・工場向けの防音商品と自動車内装部品を主に製造しています。電気自動車への大きな期待と、ISO14001の取得、環境への配慮から、総社市でいち早くEVを導入。今回は補助金を使い、積載量が多い軽商用EVを3代目として購入しました。主に総社から岡山市内への移動に使って

いますが、荷物が多くても、ガソリン車より静音で加速がパワフル。帰社後、会社で充電すれば、翌朝には満充電になり1日使えます。冬場は消費電力が大きいので注意が必要ですが、近距離であれば問題ありません。今後、加速するEVの普及に伴い、県内のさらなる充電インフラの整備・拡充にも期待しています。

みのりこうぎょうかぶしがいいしゃ  
三乗工業株式会社

総社市井尻野100  
☎0866-93-2301

会社の駐車場に普通充電設備を設置

